

よしだ

文化会館だより

No. 95
2008. 1. 1

夜回り先生が

熱く語りかける

12月8日、人権週間（12月4日～10日）にちなんで平成19年度笠岡市人権問題講演会が、笠岡市民会館・大ホールで開催されました。約900人で埋め尽くされた会場に、「夜回り先生」こと水谷青少年問題研究所の水谷修さんを講師に迎え、「あした笑顔になあれ〜夜回り先生からのメッセージ〜」と題したご講演をいただきました。



よしだ文化会館だより①

満員の参加者に大きな拍手で迎えられて登場した水谷さん。現代の子どもを追いつめられた心の状態について述べ、「こうなった原因は、現状を見て見ぬふりをしている大人にある」と指摘しました。そして、親に対しては子どもを心から褒めることを、祖父母に対しては孫を励ましてあげることが、子どもに対しては助けを求める勇気を持つことを、教師に対しては学校内での支援体制を確立することを、近所の大人に対しては登下校する子どもたちに明るく声をかけることをそれぞれ求め、「地域で子どもを育てていこう」と訴えました。

さらに、水谷さんが16年にわたって関わってきた「夜の世界」のありのままの姿を語り、目頭を押さえながら一心に聞き入る参加者の姿がこちらで見られました。またホワイエでは、笠岡市内の全ての小学校が参加した「人権の花」写真展や、第9回笠岡市人権フォトコンテストの入賞作品展が開催されたほか、講演会に先だつて笠岡市人権フォトコンテストの表彰式が大ホールで開催され、最優秀賞に選ばれた太田浜枝さんらが喜びを新たにしていきました。この講演会で寄せられた参加者からの感想を以下に紹介します。

私たちの住む笠岡に夜の町への誘いがあることを知り、自分の子どもへの対応のなさけなさを感じました。声かけ、あいさつを明るくやっていきたいと思います。（40代・女性）

今まで僕もあいさつなど心がけていましたが、そのはげみにもなると思います。（19歳以下・男性）

今のゆとりのない社会が子ども達をむしばんでいる現実を身にしみて感じました。（50代・女性）

水谷先生の行動力を見習って、私にも何かできるのではないかと勇気づけられました。（30代・男性）